



— 平成 23 年度会計別決算収支状況 —

会計区分		歳入	歳出	差引
一般会計		213億6,088万9,636円	209億6,752万6,689円	3億9,336万2,947円
特別会計	松井財産区	1億1,704万7,897円	1億1,703万7,245円	1万652円
	国民健康保険	58億6,492万8,115円	58億4,831万165円	1,661万7,950円
	休日応急診療所	2,078万167円	2,071万2,903円	6万7,264円
	公共下水道事業	21億1,252万5,361円	21億1,188万8,350円	63万7,011円
	農業集落排水事業	4,867万177円	4,857万177円	10万円
	介護保険事業勘定	30億2,069万5,798円	30億4,478万3,528円	△2,408万7,730円
	保険サービス事業勘定	1,527万863円	956万917円	570万9,946円
	後期高齢者医療	5億2,789万8,854円	5億2,529万7,236円	260万1,618円
計		330億8,870万6,868円	326億9,368万7,210円	3億9,501万9,658円

問 JR 松井山手駅周辺の空き地でまだ商業施設以外としてあるところは、高層マンションが建つのか。また、商業施設ができるあと、さらに問題になるとと思われる渋滞対策については。



民間保育園の移転建設予定地

建設・経済環境等

ない市民の理解を得る
とが難しいと考える。

問 他の自治体は人口が減少しているところが多いが、本市は人口が伸びている。その背景をどううりうえているか。

国保医療課長　国保の医療費は年々2～3億円ずつ増えている。保険料の現状維持が厳しい状況で、引き上げることは難しい。一般会計からの補助金も減らさないといけない。

ている。引き下げるか、国民健康保険特別会計に一般財源の投入を考える。

入世帯は、本市の約3分の1が加入されている。そのうち、所得が10万円以下の世帯が半分を超えており、国保被保険者の内半数が加入している。



中学校に設置された空調機器

問 山手幹線の大住
丘から八幡方面の渋滞
対策には、計画されて
た府道池ノ端丸山線の
備を急ぐよう要望すべ
ではないか。

力月児検診などの検診に発見でき、対応にげている。

らない方がおられる。帳の交付を受けていふには補聴器の支給などするが、そうでない方にしては、要約筆記派遣業が支援となる。まことに

方には、障害者手帳の付を受けている方と手の交換を受けるまでこ

問 難聴の方が増える
いる。加齢によるもの
また、子どものときか
の方、それぞれどのよ
な対応をしているのか

選ばれたポイントに、
育て支援の施策がいい
いう声をいたいたいた。
市の大大きな柱として推
していることがそういう
形で見えて、いろいろ思ひ

教
育

室の構造や方法を議論している。
問 学校の大規模改修計画は。

学校環境整備課長 震工事が平成25年度で終わり、空調設備の充実や三山木小学校の増築という計画があるが、策約30年の校舎が多く、全般的に検討する時期に来ていると考えている。

問 行革により18年度に補助金の一律カットが行われた。本市の文化財で観光の目玉の隼人舞も同様にカットされているが、増額すべきではないか。